

日時 : 2010 年 1 月 28 日(木) PM 1:00 ~ PM 5:00
 場所 : 塗料報知新聞社 会議室
 出席者 : 窪井氏(久保井塗装工業所)、小林氏(オーウエル)、内山氏、渡邊氏(東和酵素)、
 杉山氏(アネスト岩田)、島田(旭サナック)
 アドバイザー: 坂井氏(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)
 オブザーバー: 神田氏(日本工塗連)、平野氏(CEMA)
 事務局: 有馬弘純氏(塗料報知新聞社) 10 名 敬称略

***** 議 題 *****

1. 安全対策分科会の報告

第 2 回 安全対策分科会 議事録参照。

2. 高度化協議会(環境技術分科会)活動の普及

(1) 本年度の分科会活動のスケジュールリングと参加者増への取組みに向け協議

高度化協議会(環境技術分科会)活動の認知を広めることが、VOC削減や塗装の地位向上にもつながる
 として、多くの参加者をこの分科会に集うしくみが必要と内山氏から意見があり協議し、下記を 2010 年の
 活動に盛り込むこととした。

① 工場、施設などの見学

・見学地候補 (今回提示された候補4案)

○ 地球環境シミュレータ [神奈川県]

＞塗装業の課題であるVOCやCO₂削減の実情を地球環境という側面から分かり易く理解する。

＞第 10 回CEMA技術シンポジウムにて定評があったことより選定。

○ 産廃処理企業 [神奈川県]

＞塗装工程のLCAという観点から塗料スラッジの処理について企業見学を通じて理解する。

＞スラッジのリサイクル化推進への協力を得ることにつなげる。

○ VOC処理装置企業

○ VOC測定装置企業

・地球環境シミュレータ視察

視察担当者 : 小林氏、内山氏、杉山氏

視察日程 : 2 月中旬まで (各担当者にて整合する)

企画立案 : 施設見学企画を上記担当者にて立案、次回分科会にて決定

・施設見学について

工塗連企業が集まる定例会(下記表)に合わせた日程を次回検討する。

会議後に神田氏より下記スケジュールを頂戴したので、掲載する。

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 理事会 | 2月18日(木)、6月17日(木)、8月19日(木)、11月18日(木) |
| 通常総会 | 9月16日(木) |
| 製販装連絡会 | 2月19日(金) |

(CEMA側は7月の部会で地球環境シミュレータ見学を予定)

・集合/解散

現地集合、解散の案が提示され、上記日程決定時に再検討する。

・開催回数

年2回の案が提示。これに対し、施設のみならず工塗連会員の工場見学なども加えて、候補を分科会で選定することで継続は可能とし今後の議題に加える。

② 分科会への参加

会議体である分科会への工塗連企業の参加は難しく、一般工塗連会員を集めるテーマを盛り込む必要があるとし、テーマを今後検討する。

・テーマ案 : CEMA参加より機械/商品の紹介

これまでの活動の中で塗料メーカーの商品紹介(武蔵塗料)、木下先生の塗装実験などがあり、活動にマッチした機器メーカー商品も一部紹介された。

公平・平等性を保ち、あくまでも技術紹介を中心に分科会テーマに上がったものとして今後検討していく。

③ 分科会が情報発信の基地へ

全国では様々な塗料、塗装、塗装工程などの情報発信やプレゼン、イベントが開催されている。

また、CEMA平野氏による講演も幾つかあり、また関連行政や自治体の企画もあるので、分科会を中心に塗料・塗装の情報発信とした役目を担うことを活動に取り入れる。

＞各地方のイベントをHPや工塗連ニュース(全国)で紹介する。

＞産総研の活動と協力する案。(平野氏)

＞VOCのシミュレーションを行うイベントの探索し、情報発信する。

④ 工塗連の分科会への持ち回り参加

活動への理解と認知を広めるために、具体的な対応が今後必要とし、工塗連においては理事会にて活動への参加を呼びかけ、持ち回り(指名制)で参加を決定するように進める。(坂井氏案)

→本日山崎会長がご参加されるため、窪井氏より会長へご協力の依頼をお願いする。

・課題 : 参加意義のあるテーマを分科会で作る必要あり

＞上記テーマ選定を平行して進め、まずは施設見学をきっかけに推進する。

(2) 関西地方セミナー(2010 2月開催)

① 参加人数の増員を目指す方向に

当初、関西工塗協の正会員、賛助会員であったが、東和酵素殿の協力で受付担当者をご用意いただけることとなり、一般へも参加を呼びかけることとした。

目標: 50名、参加費: 無料、申し込み期限: 2/19(金)

② 業界紙への連絡

・塗料報知、コーティングメディア、理工出版社、塗料界展望社、塗料出版社の5社へ案内をする。

・案内用プログラムの作成(担当: 島田 2/1 作成)

・発信は高度化協議会 会長名にて発信する。

③ CEMAニュースに案内掲載

・CEMA HP 2月1日掲載。

・申し込み用紙を作成しCEMA会員へ直接案内を送る。(申し込み用紙作成: 島田)

④ 申込先

・申し込み先は関西工塗協とする。

・神田氏より上記内容を関西工塗協担当者へ連絡して頂く。

⑤ その他

・2/19の工塗連理事会および製販装連絡会にて最終人数の報告をお願いする。(神田氏)

(3) 発表のデモンストレーション

- ①『VOC・コスト同時削減の取組み』（基調講演 平野氏）
 - ・表題 環境技術分科会『顧問』→『アドバイザー』に変更する。
 - ・上記の分科会活動や見学会への参加や情報発信の活用をPRして頂く。
- ②『洗淨シンナ削減と水性塗装へのトライ』（窪井氏）
 - ・PPの修正や発表のポイントなど見直しを実施。
 - ・時間内(40分)に終了するよう練習して頂く。
- ③『バイオによる塗装ブーススラッジの再資源化』（内山氏）
 - ・特に変更は無し。
 - ・スラッジリサイクル活動において、ペレットの強度アップの追加と、上記の分科会活動や見学会(特に産廃のLCA)について紹介を加えて頂く。
 - ・時間内(40分)に終了するよう練習して頂く。

3. その他の議題(分科会活動テーマ)について

- (1) ゴミ・ブツ削減の進捗 (内山氏)

ブース清掃企業へ写真など提供を依頼中より、写真の入手後にマニュアルと組み合わせた段階で分科会にて審議することとした。
- (2) その他
今回時間が無くなり下記議題は次回に繰り越す。
 - ・粉体の新しいテーマ検討
設備紹介 <旭サナック製 粉体塗装用部分回収装置> (島田)
 - ・廃熱処理のモデル企業調査報告
- (3) MMRC の鈴木氏の参加
日程調整を引き続き窪井氏にて行って頂く。

4. 次回予定

第3回 安全対策分科会

2010年3月11日(木) 午後11時 ~ 12時 塗料報知新聞社会議室

<予定議題>

- ・3月厚労省ホームページに掲載結果の報告
- ・「塗装の安全対策」(仮称)出版の役割分担

第20回 環境技術分科会

2010年3月11日(木) 午後13時 ~ 17時 塗料報知新聞社会議室

<予定議題>

- ・関西セミナー開催報告
- ・工場、施設などの視察報告と企画書審議
- ・分科会年間スケジュールと見学会予定の組み込み
- ・分科会テーマの進捗確認(ゴミ・ブツ、乾燥)
- ・新しいテーマ(粉体) 設備紹介(島田)
- ・MMRC の鈴木氏の参加予定(窪井氏)

————— 以 上 —————